

令和2年11月

学校薬剤師 各位

大阪府立高等学校薬剤師会  
会長 佐野 智

## 冬季教室の空気環境一斉調査

平素は学校保健衛生の向上に何かとご配慮頂き、誠にありがとうございます。  
当調査は、冬季における教室の空気環境を調査することにより、学校環境を把握し改善を図り、学習能率の向上、健康の保持・増進を目的としていますので、ご協力お願いいたします。

調査期間 令和2年 12月中旬～2月末日

- 調査項目
1. 廊下測定は教室測定後
  2. 調査教室名・調査教室の容積・調査時の人数
  3. 暖房器具の種類・使用状況（設定温度・風量等）
  4. 加湿器の使用状況
  5. 室温・湿度・炭酸ガス濃度（教室は開始時・終了時）
  6. 熱交換型換気扇の使用状況
  7. 入室した時の教室の臭気、等

**※記入漏れの無いようにお願いします。**

- 調査結果 集計のため必ず同封の調査用紙◆にご記入下さい。
- ▶ 学校へは「学校環境衛生調査報告」と「学校へ提出」の用紙を提出し、
  - ▶ 薬剤師会へは、「薬剤師会へ提出」の用紙のみを、下記に郵送またはFAXして下さい。（郵送の際は必ず同送の封筒に切手貼付のうえ送付して下さい。）

提出先 〒540-0019 大阪市中央区和泉町1-3-8  
大阪府薬剤師会館内  
大阪府立高等学校薬剤師会 宛

提出期限 令和3年3月末日

◆調査用紙は、ダウンロードできます。

大阪府薬 HP > 会員ページ (OKISS) > 学薬部会 > 大阪府立高等学校薬剤師会

※ 二酸化炭素検知管(10本入り)は、12月初旬には各学校の届くよう手配していますので、調査時に受け取ってください。

(裏面もご覧ください)

## 調査を行う前に必ずお読みください

### 教室の空気調査について、

平成30年(2018)4月2日「学校環境衛生基準の一部改正」において、下記の変更がありました。

#### 〔温度の検査方法〕

温度計には、アスマン通風乾湿計、熱電対、温度抵抗体(RTD)、赤外線、サーミスタを利用した温度計等があるが、**0.5度目盛の温度計**又はこれと同等以上の性能を有する測定器を用いて測定する。

#### 〔相対湿度の検査方法〕

乾湿球湿度計には、アスマン通風乾湿計、電気抵抗湿度計、静電容量式湿度計、オートガス乾燥計等があるが、**0.5度目盛の乾湿球湿度計**又はこれと同等以上の性能を有する測定器を用いて測定する。

このため本調査の気温・相対湿度の検査には、必ず

**アスマン通風乾湿計か、0.5度目盛の温度計、0.5度目盛の乾湿球湿度計**での測定をお願いいたします。

<※該当の測定器が無い場合は、担当学校とご相談をお願いいたします。>

### 【注意事項等】

- 1、調査用紙の各項目については、記入漏れの無いようにお願いします。
- 2、必ず、測定教室の黒板付近のBOXを開けて、エアコン、熱交換型換気扇等の稼働状況をご確認ください。(施錠の有無を事前に確認の事)
- 3、測定は、なるべく教室中央付近、机上の高さで行う。
- 4、廊下測定は教室測定後に行う。
- 5、今年度はコロナ対策として、換気は徹底されていると推測します。

二酸化炭素濃度が基準値(1500ppm)を超える場合は、必ず測定方法や測定器具等の点検確認を行った上、指導助言をお願いいたします。

<補足> 一斉調査は、データーを集計後、会員と教育庁へ報告いたします。